

監査結果報告書

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、次のとおり財政援助団体の出納・その他の事務の執行で、当該財政援助に係るものについて監査を実施した。

1 監査の実施概要

(1) 監査の対象

「燕市夏まつり事業補助金」

(所管課：観光振興課)

(2) 監査の種別

財政援助団体監査

(3) 監査の期間

令和 8 年 1 月 7 日 (水) ～令和 8 年 3 月 25 日 (水)

ヒアリングの実施

実施日：令和 8 年 2 月 10 日 (火)

場 所：燕市監査委員事務局

(4) 監査の範囲

令和 5 年度及び令和 6 年度に燕市が交付した補助金に係る出納、その他の事務の執行状況

(5) 監査の方法及び着眼点

監査の実施にあたっては、次の項目を主な着眼点とし、関係帳簿・関係書類等を調査するとともに、関係職員からの説明を聴取するなどの方法で実施した。

- ・団体に対する補助金が、目的に沿って執行されているか。
- ・補助金等に係る収支の会計経理等が適切に行われているか。

2 監査対象団体の概要

(1) 名称と代表者等

名 称	分水まつり協賛会
代 表 者	会長 高野 文夫
所 在 地	燕市上諏訪 9 番 6 号
設 立 年 月 日	平成 19 年 5 月 30 日

役員構成	名誉会長（燕市長）	顧問	2人
	会長	副会長	3人
	理事	監事	2人
	相談役		1人

(2) 設立目的と事業内容

目的	分水まつりの実施にあたり、その運営が円滑かつ効果的に行われることを目的とする。
事業内容	(1) 分水まつりの企画立案及び実施 (2) その他分水まつりの目的達成に必要な事項

(3) 補助金の交付状況

(単位：円)

補助金の名称	補助金の交付額	
	令和5年度	令和6年度
燕市夏まつり事業補助金	3,150,000	3,150,000

(4) 決算概要

<収入>

(単位：円)

科目	令和5年度	令和6年度	比較増減
	決算額 (A)	決算額 (B)	決算額増減 (B) - (A)
1. 補助金	3,150,000	3,150,000	0
燕市補助金	3,150,000	3,150,000	0
2. 繰入金	2,256,000	2,256,000	0
燕市夏まつり連絡協議会より	2,256,000	2,256,000	0
3. 地区別繰入金	300,000	0	△300,000
50回記念特別繰入金	300,000	0	△300,000
4. 雑収入	36	190	154
預金利息他	36	190	154
5. 繰越金	3,965,910	1,820,951	△2,144,959
前年度繰越金	3,965,910	1,820,951	△2,144,959
合計	9,671,946	7,227,141	△2,444,805

<支 出>

(単位:円)

科目	令和5年度	令和6年度	比較増減
	決算額 (A)	決算額 (B)	決算額増減 (B)-(A)
1.総務費	75,200	72,998	△2,202
役員会・各種代表者会議	75,200	72,998	△2,202
2.設営費	2,453,394	2,857,297	403,903
ステージ設置・音響設備設営費	660,000	737,000	77,000
照明設備費	59,400	70,400	11,000
テント・机・椅子レンタル費	187,000	275,000	88,000
警備費	264,000	390,855	126,855
仮設トイレ設営費	69,450	82,042	12,592
電気配線工事費等	1,177,000	1,199,000	22,000
その他設営費	36,544	103,000	66,456
3.行事費	2,314,078	2,139,305	△174,773
たるみこし関係	535,565	480,000	△55,565
分水みこし	111,900	163,360	51,460
民謡流し	714,985	510,400	△204,585
市民芸能ステージ	50,000	80,000	30,000
よさこい	70,000	111,840	41,840
太鼓演奏関係	489,628	596,150	106,522
その他行事	342,000	197,555	△144,445
4.需用費	2,353,323	569,234	△1,784,089
消耗品費等	317,630	283,533	△34,097
標識等設置撤去	179,300	187,000	7,700
うちわ	125,400	0	△125,400
クリーニング	33,715	33,963	248
収入印紙、切手、振込手数料等	53,040	64,738	11,698
50回記念品等	1,394,538	0	△1,394,538
まつりハッピー	249,700	0	△249,700
5.委託費	600,000	600,000	0
商工会事務委託費	600,000	600,000	0
6.予備費	55,000	0	△55,000
翌年度繰越金	1,820,951	988,307	△832,644
合 計	9,671,946	7,227,141	△2,444,805

3 監査の結果・意見

(1) 調書、聴き取り、実地による確認事項

- ① 市からの補助金は、令和5年度3,150,000円、令和6年度3,150,000円で、全体の事業費に対する市からの補助金の割合は、令和5年度40.1%、令和6年度50.5%となっている。

- ② 夏まつり経費については、主に市からの補助金のほか燕市夏まつり連絡協議会からの繰入金
金が充てられている。
- ③ 市からの補助金は、燕市夏まつり事業補助金交付要綱に基づき、概ね適正に事務が執行さ
れ、収入支出事務についても適正に処理が行われていた。
- ④ まつり行事の存続には小中学生の参加が欠かせないという思いから、地元小学校の発案も
あり、ダンスイベントを小学生をメインに募集したところ、地元小学生の参加が多数あり、
ダンスイベントの参加者が倍増した。それに伴い、観覧する保護者等も倍増し、大盛況であ
った。
- 一方で、一部行事での参加者の減少が課題となっている。特に民謡流しの参加者は年々減
少傾向にあり、参加企業の減少や踊り手の高齢化などに起因する参加団体の減少が主な原因
である。減少を抑えるため、民謡流しの協力団体である「地蔵堂おけさ保存会」が小学校に
出向き、踊りの指導を行う取り組みも始めており、今後は小学生も参加しやすい民謡流し
の実施方法や募集方法も検討していきたいとしている。
- ⑤ 分水まつり協賛会の事務局であるつばめ商工会は、令和 6 年 4 月に吉田商工会と分水商工
会が合併して新たに設立された。合併に伴い、今後人員が削減される予定であり、1 つの商
工会で 2 つの地域のまつりを実施することは、準備・運営等の負担が大きく、本来商工会が
担うべき業務に支障が出る可能性があると考えている。観光振興課としては、今後の運営体
制について、協賛会へ現状を確認した中で、検討していきたいとしている。

(2) 意見

近年、分水夏まつりイベントの参加者の減少が課題となっている。特に民謡流しのイベント
については、参加企業の減少が、働き方改革の影響から職員の土日参加が難しくなっているこ
とや民間団体は、高齢化が進み次世代の参加がないことから団体数の減少も深刻な状況とのこ
とである。一方で、地蔵堂おけさ保存会が、小学校に盆踊りなどを指導する現状があり少しづ
つ浸透し始めてきている。今後これがきっかけとなり、次世代の参加人数の増加に繋がること
を期待したい。

夏まつりの経費については、市からの補助金のほか燕市夏まつり連絡協議会からの繰入金
が充てられており、収支の会計経理等については適正に行われていることが確認された。

出演料等について、明確な基準は設けていないものの合併前から同額としており、参加者か
らは出演料の改定を要望されることもあるが、物価高騰などの影響から現状維持としており苦
慮している部分がある。また、吉田商工会と分水商工会が合併したことに伴い、今後職員数が
削減され、夏まつりイベント運営に影響があると懸念されることから、運営体制については、
市とよく協議していただきたい。

(3) 観光振興課への意見

補助金については人口割に基づいて額を決定している。突発的な事業費の増加については上
乗せ支給しているが、各まつり協賛会は経費削減に取り組んでおり、物価や人件費の高騰と協
賛金額の減少により厳しい状況下でのイベント運営をされている。各地区の夏まつりを継続さ

せることは、市民同士の親睦や地域への愛着や郷土愛の醸成にも繋がることから補助金の継続支援は必要であると考え、夏まつりの目的を明確にすることで、これまでの支援のやり方を財政面や運営の方法など考えていく必要がある。また、協賛会から職員の削減により夏まつりのイベントに影響を及ぼすと懸念しており、外部委託や簡素化などの要望があるため、今後の運営について協力しながら検討されたい。補助金の決算書類の確認については、状況や必要に応じて確認がされているため、引き続き、情報共有を図り業務遂行に努められたい。